

長万部町×東京理科大学

地方創生事業のその後

地方創生事業で開始したミニトマト事業について、3ヵ月に一度ご報告をさせて頂いております。引き続き、本事業にご理解とご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

●トマトハウス栽培及び収穫状況と、新商品のお知らせ

昨年夏からの1年にわたる収穫が続いている2棟目の「エンリッチミニトマト」は、収穫の最終局面ですが、小径化もせず高い糖度を保った収穫が続いています。3月初めに作付（定植）し5月中旬から収穫を行っている1棟目のミニトマトも10度近い糖度に達し、無事「エンリッチミニトマト」となりました。是非、お召し上がり下さい

長万部アグリ株式会社 富野農場（ビニールハウス）の状況			
2棟目 北側	2021年7月初 定植	1棟目 北側	2022年3月初 定植
2棟目 南側	2021年8月末 収穫開始 ⇒ 収穫継続中	1棟目 南側	2022年5月中旬 収穫開始 ⇒ 収穫継続中
生育中		収穫中	

●長万部小学校5年生の収穫体験教室

「広報おしゃまんべ」8月号にも「小学生の様子」としてご報告がありましたが、6月30日に、長万部小学校の5年生に「長万部アグリ」の農場で収穫体験を行って頂きました。中には「100個以上も食べた！」子供もいました（お腹大丈夫でしたか？）。

この他にも、「広報おしゃまんべ」7月号にも記事掲載されているとおり「放課後みつけクラブ」が5月25日に、マリア幼稚園が6月7日に農場見学を訪れて下さいました。



●NPO法人「日本に健全な森をつくり直す委員会」主催シンポジウム登壇決定！

来る9月11日開催の『“気候変動”と“再生可能エネルギー”を考える』において、木幡町長にご登壇頂き、長万部町の取組と地方創生事業について紹介する予定です。このシンポジウムは、東京大学名誉教授の養老孟司先生、ベストセラー『里山資本主義』の著者である藻谷浩介氏、NGO法人「気候ネットワーク」の平田仁子理事と共に、気候変動問題を考えていくもの。収容人数を半分の150名に減らしての会場での講演と同時進行でZOOMライブ配信（有料）も行われ、当日開催時刻まで、視聴申込が可能です。詳しくは、以下のURLをご参照下さい。https://kenmori.org/news/

●日本経済新聞「北海道食の大国」に掲載

8月5日の日本経済新聞の『北海道食の大国』コーナーに『ミニトマト、イチゴに並ぶ高糖度 長万部「エンリッチ」』という記事が掲載されました。

■お問い合わせについては、以下までお願いします。

トマト事業関連：長万部アグリ株式会社 ☎ 070-4800-6833

<https://www.oshamambe-agri.co.jp/>

(有料広告)

求人募集！

長万部アグリ株式会社

■ 作業内容 ①トマト栽培・収穫・出荷業務、作業指示・メンバーの統率、管理業務

②トマト栽培・収穫・出荷業務

■ 勤務時間 08:00～16:45（内1時間は、休憩）

■ 賃金 ①@1,300円～、②@900円～（何れも、能力に応じ昇給有！）

◆連絡先◆ ☎070-4800-6833（農場直通電話）

※「No.1格付」取得の最高の「エンリッチミニトマト」を一緒に作りましょう！

